

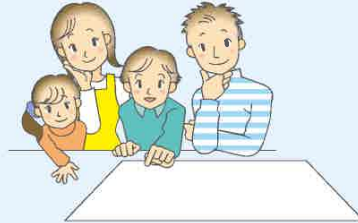
① 非常食や持ち出すものなどを準備しておきましょう。

日頃から非常食や持ち出すものをリュックサックなどにまとめておきましょう。



② 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

最寄りの避難場所がどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けば良いのか前もって地図等で確認しましょう。



③ 一人暮らしのお年寄りなどに気配りをしましょう。

地域に住む一人暮らしのお年寄りや体の不自由な方に目を向けるなど、普段から気配りをしましょう。



非常持ち出し品リスト

非常持ち出し品は、最低3日間の準備が必要です。家族構成に応じた準備が必要です。日頃から準備し、定期的にチェックをしましょう。

非常食品	医療品等	貴重品
☒ 飲料水(1日1人あたり3リットル) ☒ 保存食(レトルト食品・缶詰等) ☒ 菓子類(あめ・チョコレート等) ☒ 栄養食品 	☒ 常備薬 ☒ 救急セット ☒ ティッシュ ☒ 生理用品 ☒ 紙おむつ 	☒ 現金 ☒ 預金通帳 ☒ 印鑑 ☒ 保険証 ☒ 免許証 
道具類	衣類等	その他
☒ 懐中電灯 ☒ 携帯ラジオ ☒ 乾電池 ☒ ライター・マッチ ☒ ろうそく ☒ ナイフ・缶切り 	☒ 下着・靴下 ☒ 上着 ☒ 防寒着 ☒ 軍手 ☒ タオル 	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

大 鹿 村

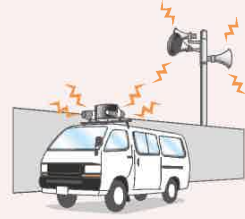
災害時の心がけ



もしもの時のために、各家庭でご覧下さい。

災害時の心がけ

避難の呼びかけに注意を



危険が迫った時には、役場や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、指示に従い速やかに避難してください。

車での避難は控えて



自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので特別な場合を除きやめましょう。

正確な情報収集と自主的避難を



ラジオ・テレビで最新の気象情報、村からの音声告知・同報無線による災害情報、避難情報、に注意しましょう。危険を感じたら自主的に避難しましょう。

前兆現象に注意



雨が降ったときや、土石流やがけ崩れなどの危険箇所では地面のひび割れなどの前兆に気をつけましょう。

動きやすい服装、2人以上での避難



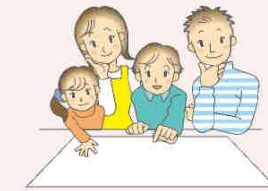
避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

指定された場所への避難が困難な場合



近くの安全で高い場所に避難しましょう。

安全な避難路の確認を



避難所までの経路（避難路）は、あらかじめ自分たちできめておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

早めの避難を心がけましょう

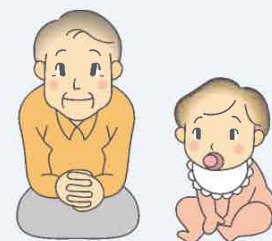


土砂災害は多くの場合、被害発生・拡大に時間的余裕がありません。早めの避難を心がけましょう。

災害時要援護者（災害弱者）の安全な避難のために

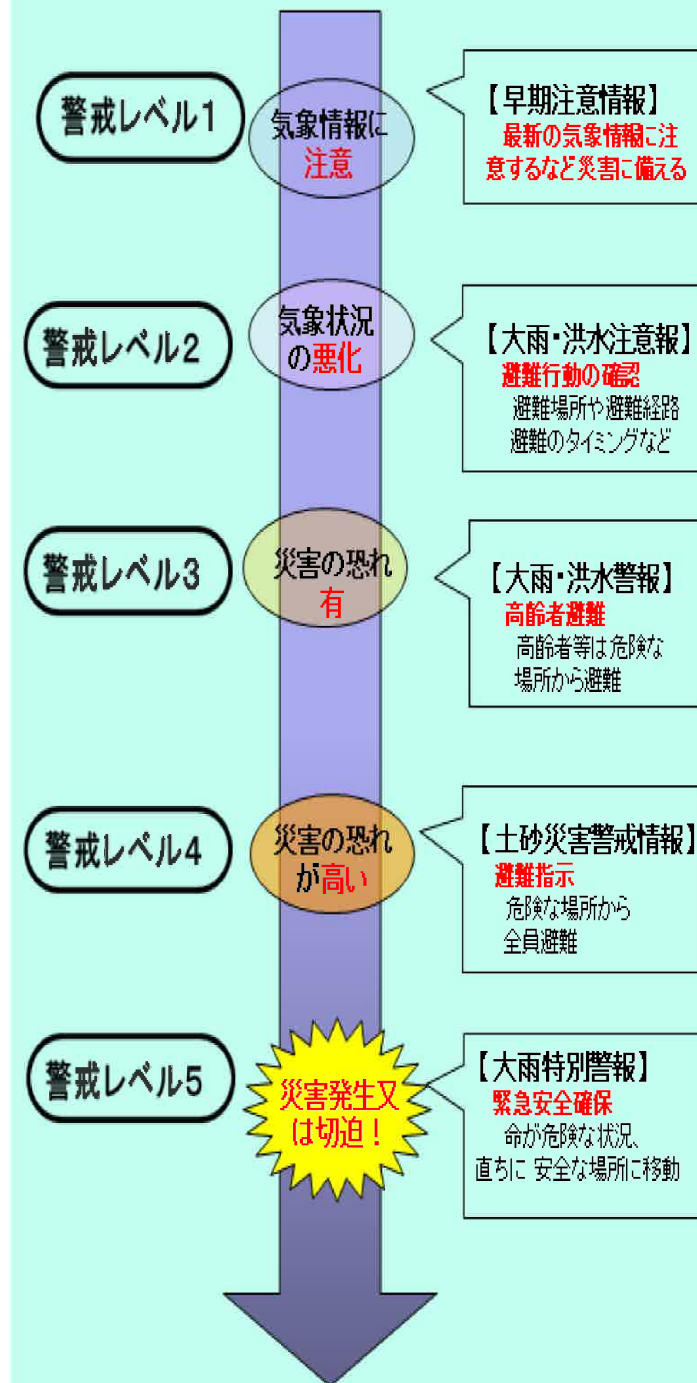
◎お年寄りや幼児、障害者など、自力で避難することが困難なため災害時に支援が必要な方がお近くにおられますか？

◎災害時にこのような方たちの避難が遅れないように、皆さんで支援や協力をしましょう。



避難行動マニュアル

風水害の恐れがある場合



災害発生後は

避難指示が解除されるまでは避難所にいましょう。

避難に関する情報は、河川水位や土砂災害警戒情報等、その時の状況を総合的に判断し、発令します。村では、学校や公民館など6箇所を指定避難所としています。日頃から、ハザードマップを活用し、最寄りの避難場所を家族で、そして自治会で確認しておきましょう。

地震が発生した場合

地震発生！！

揺れがおさまった

1～2分

3分

5～10分

10分～数時間

～3日

- 落ち着いて身の安全を確保！
- 余裕があれば出口の確保！
- 火元を確認！
- 家族は大丈夫か！
- 靴を履く！
- 避難持出品の確認！
- 山、崖崩れが予想される地域はすぐに避難！
- 近くに火は？
- 家族は無事か？
- 余震に注意！
- ラジオをつける！
役場からの正しい情報を確認！
- 家緊急連絡を優先！
安否確認は伝言ダイヤル「171」を！
電話はなるべく使わない！
- 避難するときは…
ガス栓を閉める！ブレーカーを切る！
車で避難しない！行き先のメモを玄関に！ブロック塀・ガラスがけきに注意！
- みんなで消防活動！
- みんなで救急活動！
消火・救出が難しい場合は消防署へ連絡！
- 簡単な手当は自分で！
- 生活必需品は備蓄でまかなう！
- 役場広報に注意！
- こわれた家に入らない！
- 無理はやめよう！
- 我愛と助け合い！

地震発生時に屋内にいたら…

- 家の中
・テーブルの下に隠れ、身を守る
・裸足で歩き回らない
・火の始末はすみやかに
- 集合住宅
・ドアや窓を開け避難口を確保
- スーパー・大型店
・カバン等で頭を保護し、ショーウィンドウや棚から離れる
・柱や壁際に身を寄せ、落ち着いたら行動を

地震発生時に屋外にいたら…

- 路上
・その場に立ち止まらず、落下物から頭を保護し、空き地など広い場所に避難する
・ブロック塀や自動販売機には近づかない
- 車の運転中
・車を道路の左側に止め、エンジンを切る
・周囲の状況を確認する
・避難が必要なときは、カギをつけたまま、貴重品を持って避難
- 山際付近
・地すべり、崖崩れの可能性が高いので、危険な場所からすぐに離れる
・広い場所に避難する